

包括連携協定締結式で調印後、がっちり握手を交わす
門脇光浩市長と三木義一学長、立会人の青柳宗五郎市
議会議長（右から順に）。



11月28日、仙北市と青山学院大学（東京都渋谷区）は、双方が相互に協力し、地域社会の発展と人材育成、学術の振興に寄与することを目的とする包括的な連携協定を締結しました。

仙北市と青山学院大学が連携協定 教育や産業振興などの分野で協力し合う

これは、同大の橋本修副学長（角館町出身）が、今夏から仙北市観光大使を務めている縁で実現したものです。

市役所田沢湖庁舎で行われた締結式には、青山学院大学から三木義一学長、田中正郎副学長、橋本修副学長が出席。門脇市長は「青山学院大学の人的資源とネットワークで、様々な取り組みを展開する基盤ができました。子どもたちの修学旅行先として、英語力向上プログラムのパートナーとして、また大学キャンパスでの仙北市PR、芸術活動の相互乗り入れ、学内の駅伝チームや各運動部・文化部の合宿誘致などを進めたいと思います」とあいさつしました。

三木学長は「大学が取り組むグローバル化、さらにグローバル化の実践地として、国内の複数の自治体と包括協定を締結してきましたが、仙北市はその中でも最も北の自治体です。観光素材の豊かさや英語特区のステージとして、また学生合宿先として、最高の条件が揃っています。これからの展開が楽しみです」と話しました。

仙北市内でタイのテレビ撮影



タイから秋田県への旅行客を誘致しようと、本県を舞台にしたタイの恋愛テレビドラマが制作され、11月20日から21日にかけて、武家屋敷通りや田沢湖畔、乳頭温泉郷などで撮影が行われました。これは、県の「タイにおける秋田ブーム創出事業」の一環で、タイの俳優と撮影クルー一行が県内各地でロケを行いました。ドラマは来年2月にタイで全国放送される予定です。



乳頭温泉郷・鶴の湯で行われたテレビドラマのロケーション。

懇親深まる東京かくのだて会



11月20日、中野サンプラザ（東京都）を会場に「第31回東京かくのだて会総会」が開催され、会員約60人が出席しました。総会に引き続き行われた懇親会では、会員が互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、飾山囃子などの余興や福引きが行われました。また、仙北市のお菓子や漬物などの特産品も販売され、ふるさとの味を懐かしむ声が聞かれました。



次々と楽しい余興も行われ、懇親会は大いに盛り上がりました。

第2回 仙北市老人クラブ大会

11月22日、「第2回仙北市老人クラブ大会」が角館交流センターで行われ、200人を超える会員、関係者の皆さんが参加しました。会の冒頭で仙北市老人クラブ連合会の藤原剛会長が「今後も健康で明るく楽しいクラブ活動の推進を図っていききたい」とあいさつ。その後、老人クラブの育成・発展に尽力した6個人3団体が表彰されました。会の後半は笑いヨガ認定ティーチャーの伊藤晴美さんによる講演や有志のクラブによるアトラクションで会場は笑いに包まれました。



壇上であいさつする藤原剛会長。



多彩なアトラクションで大会は大いに盛り上がりました。

- ◆受賞者 ※敬称略・（ ）は地区
仙北市老人クラブ連合会会長表彰
〔老人クラブ育成功労者〕
田口榮良（田沢湖）
高橋秋夫（角館）
西村春雄（西木）
〔優良老人クラブ〕
小松睦会（田沢湖）
九六会（角館）
上荒井老人クラブ（西木）
〔老人クラブ育成従事者〕
高橋良吉（田沢湖）
草薮洋（角館）
嶋田チエ子（西木）

全国スポーツ推進委員研究協議会

渡辺勇悦さんが 功労者表彰

11月17日・18日に福井県鯖江市で開催された第57回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会で、仙北市スポーツ推進委員協議会の渡辺勇悦委員長が、スポーツ推進委員として永年に行ってきた活動の功績が認められ功労者表彰を受賞しました。



功労者表彰を受賞した渡辺勇悦さん。

仙北市交通安全市民大会

11月20日、交通安全運動の推進を目的とする仙北市交通安全市民大会が角館樺細工伝承館で開催され、市内の交通関係者など120人が参加



功績を讃え、交通安全功労者・団体表彰が行われました。

しました。

会の冒頭では交通安全功労者・団体表彰が行われ、5人1団体が表彰されたほか、県生活環境部県民生活課による「第10次秋田県交通安全計画の概要」や仙北警察署による「地域の交通安全」などの講演が行われ、参加者は熱心に耳を傾けながら、交通安全に対する意識を高めています。受賞者は次のとおり。【敬称略】

〔個人〕▼鈴木勝一（仙北地区交通安全協会生保内支部）▼門脇修一（同中川支部）▼伊藤甚作（同松木内支部）▼阿部正明（元仙北市交通指導隊）▼青柳良信（元仙北市交通指導隊）〔団体〕▼仙北地区交通安全協会神代支部青年部（部長 高橋春彦）



角館高校が台湾修学旅行を初体験

11月6日から9日にかけて、角館高校2年生の生徒36人と教師4人が修学旅行で台湾を訪れました。同校と昨年、姉妹校協定を結んだ国立台湾師範大学附属高級中学（台北市）を訪問した際は、熱烈な歓迎を受け、終始なごやかな雰囲気の中、授業や部活動を通じて活発な交流を行いました。生徒たちは台湾修学旅行から帰国後、心境に大きな変化が現れました。2人の代表者の感想をご紹介します。

佐藤友紀さん

私は台湾の方々と師範大附属高級中学との交流を通して、より広い視野で自分の進路について考えることができるようになった。今後はもっと英語力を伸ばし、将来はグローバルな社会で活躍できる人材になりたいです。

加羽麗奈さん

台湾の方々の心の温かさを感じた4日間でした。姉妹校での活動を進めるにつれ、習慣や文化、言葉が違うという私の不安感が払拭されていきました。今後は私も日本や仙北市の良さを伝える役割を果たしていきたいです。

角館高校野球部地域サポーター事務局から

夏の大会では惜しくも優勝を逃しましたが我々に多くの感動を与えてくれました。また3年ぶり3回目の出場となった秋季東北大会でも強豪、花巻東を破り来季に向けて我々の期待もますます高まっているところであります。地域サポーターとしましても来季の飛躍を願い応援を続けて参ります。今後もサポーター各位のご支援と市民の皆様のご声援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

角館高校野球部地域サポーター事務局
代表 菅原 一正

地域サポーター募集のお知らせ

問い合わせ先：090-2987-6138（副代表 藤原 悟）
フェイスブック：<https://www.facebook.com/groups/288061078030430/>



角館高校野球部
主将 大石 稔斗

私たちは夏休みから毎日の厳しい練習に取り組んできました。その結果、東北大会に出場することができました。1回戦は突破できましたが、満足いく結果は残せませんでした。秋の大会を通して得られた課題を冬期間の練習で克服できるよう、仲間のことを考え、周囲の人のために行動し、来夏の甲子園での勝利を目指して頑張ります。

角館高校野球部 監督 湯澤 淳



地域の方々をはじめ、たくさんの方々からいただいた応援やご助力のおかげで、最後まで諦めず戦い抜くことができました。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

さて、今年度は、甲子園予選秋田県大会準優勝、秋季東北大会2回戦敗退と満足いく結果ではありませんでしたが、選手たちは持てる力を十分に発揮してくれました。現3年生は、1年次に甲子園の舞台を経験したことで目標が高くなり、これまで以上に厳しい練習を積んできました。ここまで成長してくれた選手と日々支えてくれた保護者の方々には、顧問一同、心から感謝しています。監督の力不足で、あと一步を助けてやる事ができませんでした。仙北市唯一の高校として、地域を元気づけるような野球と地域に貢献できる人材を育成できるように、私自身も選手とともに精進していきたいと思います。これからも角館高校野球部をよろしくご祈願致します。

秋田県統計功労者表彰



荒木田 久志 さん



大平 三郎 さん



高橋 正夫 さん

11月11日に秋田県庁で平成28年秋田県統計功労者の表彰式が開催されました。長年の各種統計調査におけるご功績が認められ、仙北市から荒木田久志さん（田沢湖生保内）が総務大臣表彰、大平三郎さん（角館町岩瀬）と高橋正夫さん（角館町西長野）が秋田県知事表彰を受賞されました。

新水源温泉 通水式



新源泉の通水を祝うテープカット。

平成27年3月に発生した硫化水素事故を受け、カラ吹き源泉から新水源泉への切り替えに伴う通水式が11月21日、生保内字駒ヶ岳地内のアルパこまくさで開催され、温泉施設の関係者など約50人が出席しました。門脇市長は「亡くなられた方々の思いや事故調査委員会の答申を重く受け止め、温泉給湯施設全面更新に着手しました。仙北市の観光の主力である温泉事業がさらに発展することを願います」とあいさつしました。

市民の医療と健康を考える会



健康で長生きをめざす

11月19日、「市民の医療と健康を考える会」が角館榊細工伝承館で開催されました。5回目の今回は「最近増加している肺の病気をテーマに、秋田大学大学院医学系研究科教授の塩谷隆信先生が肺炎・肺がん・慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの診断や治療・予防について講演。講師の分かりやすい内容に、会場に集まった参加者は真剣に耳を傾けていました。



最近増加している肺の病気がテーマとあって、会場にはたくさんの参加者が集まりました。

生き方見つめる働く女性の座談会



自分らしさを輝かせる

11月23日、安藤醸造マル3蔵麹くらぶで「働く女性の座談会」が行われました。話題提供者として市内で働く3人の女性が、現在の仕事を始めたきっかけややりがい、女性が働きやすい環境づくりなど自身の体験を踏まえながら語りました。それぞれの道で充実した日々を過ごされている3人のお話には、参加者は深く共感し、これからの生き方を見つめている様子でした。



話題提供者の木下さおりさん、村岡歩さん、後藤明さん（左から）。